

Tableau 定着化の支援を強化、顧客が目指すデータ活用の実現へ

～インテージテクノスフィア、セラクとサービスメニューを策定して活用促進～

株式会社インテージテクノスフィア（東京都西東京市、代表取締役社長：饗庭忍）は、株式会社セラク（東京都新宿区、代表取締役：宮崎龍己）との協業により、データ活用の最大化を可能にするビジュアル分析プラットフォーム「Tableau（タブロー）」の定着化の支援を強化します。

Tableau によるデータ活用実現のためには経営層のコミットの下、データ基盤などのシステム視点だけでなく、ユーザー視点に立ったプロジェクト推進が必要となります。ユーザー視点を意識したデータ基盤の構築に強いインテージテクノスフィアと、ユーザー部門への導入・伴走支援に強いセラクが手を組むことで、顧客が目指すデータ活用を実現します。

インテージテクノスフィアとセラクによる Tableau 定着支援のサービスメニュー

	現状課題の整理 データ活用の目的設定	スモールスタート クイックウィン	データ活用文化の醸成 データ分析基盤の強化
目指す姿	目的の明確化 ロードマップの策定	データ活用の小さな成功体験	成功体験の横展開 仕組み化
よくある課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ツール導入が目的となる。 ・個別最適なゴール設定となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員リソース不足のため動き出せない ・スキル / ノウハウがない 	<ul style="list-style-type: none"> ・内製化が進まない。 ・拡大に伴いデータ環境がカオス化する。
ユーザー視点からのアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> ・データ活用方針の策定 ・業務プロセスのAsIs-ToBe像の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダッシュボード提案・作成支援 ・ステークホルダーにベネフィットを訴求出来る様なviz作成及び分析PDCAサイクルの試行 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者/ユーザー向けトレーニング ・クイックウィンにて行ったPDCAサイクルのブラッシュアップ ・効率的なデータ連携、運用に向けた改善案の検討 ・現場浸透、管理体制の構築支援
システム視点からのアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> ・要求事項の洗い出しと優先順位付け ・既存システムの仕様確認 ・採用候補サービス / 技術のリストアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・初期範囲のデータ環境の構築 ・初期範囲のデータフロー確立 ・フィードバックを受けての改修 	<ul style="list-style-type: none"> ・搭載データの拡充 ・データガバナンスの実現 ・利用状況に合わせたシステム増強

■本件のお問い合わせ先

株式会社インテージテクノスフィア

広報担当：経営企画部 池田

Eメール：pr-itssp@intage.com

Tableau サービス担当：DX 共創センター 久保田

Eメール：itssp-tableau@intage.com

協業の概要

インテージテクノスフィアは、マーケティングリサーチ分野で培ったデータ処理技術を基に「データに価値を与えること」を得意としており、目的による検討の支援から分析基盤の構築まで、顧客のデータ活用の取り組みを支援します。

セラクはインテージテクノスフィアと連携し、Tableau を利用する企業に対し、初期導入からオンサイト（昨今では主にリモート常駐）型を中心とした活用を支援します。

今回の協業でインテージテクノスフィアは、セラクとともに Tableau の定着化および活用に向けたサービスメニューを策定し、カスタマーサクセスを推進します。

協業の背景

ビッグデータ活用のニーズの高まりにより、ビジネスアナリティクス（BA）市場が急速に加速している現在、中でもビジネスインテリジェンス（BI）が特に重要視され、今後はデータの蓄積と活用に成功した企業が競争力を持つといわれています。Tableau はビジュアル分析をけん引するプラットフォーム。直感的な操作が可能であり、「分析やデータに関する技術的な専門知識を持たないビジネスユーザーでも簡単に扱うことができる」という特徴があります。

一方でユーザー側には、データを活用すべきであると認識しているものの、「どのデータをどのように可視化していけばよいか分からない」「効果的なダッシュボードの作成方法が分からない」という課題があります。さらに、Tableau と連携するデータ基盤の高度な構築には卓越した技術力が必要となり、「データ基盤が構築できない」「運用していけない」という課題も多く存在しています。

このような背景の中、インテージテクノスフィアは多岐にわたるシステム技術、多様なハンドリング技術により、顧客のビジネスを理解することでデータの新たな価値を創造し、「データ変革の時代」をリードしています。

セラクは Salesforce 社認定の定着活用に特化したコンサルティングパートナーとして、Tableau を含めた Salesforce プラットフォームの定着化支援で業界をリードし、これまで 300 社以上を支援してきました。特に Tableau の定着化支援実績は増加傾向にあり、導入におけるクイックウィンの創出、活用における定着化や Salesforce と連携した利活用を促進しています。

インテージテクノスフィアとセラクの強みを生かすことで、分析基盤構築から Tableau 定着化まで幅広く顧客を支援できることから、今回の協業に至りました。

株式会社セラク カスタマーサクセスソリューション事業部について

<https://www.seraku.co.jp/>

株式会社セラクの Salesforce 事業は開始してから約 8 年、全国 300 社以上の Salesforce 定着・活用支援を行い、Salesforce 社認定の定着・活用支援に特化した「カスタマーサクセスカンパニー」です。Salesforce の定着化・活用において重要な提案力×実装力×推進力を兼ね備えた人材がオンサイト型（常駐型）、センター型で Salesforce の定着化・運用を支援します。

お客様専任の Salesforce のカスタマーサクセスコンサルタントが、お客様のビジネスに合わせた、Salesforce 定着・最大活用をサポートいたします。

【株式会社インテージテクノスフィア】 <https://www.intage-technosphere.co.jp/>

インテージテクノスフィアは、マーケティングリサーチ業界を牽引するインテージグループにおいて IT 事業を担う会社であり、「データに魂を吹き込み、世の中を感動させる Intelligence Integrity Impression」をビジョンとして掲げています。

AI（人工知能）のビジネス適用、ソフトウェア開発・販売、データベースやデータウェアハウス（DWH）の構築支援、各種システム構築・運用による業務プロセスの改善支援、データセンター運用・保守サービスなどを展開し、お客さま企業のデータ活用や DX 化を支えています。